

こだわり生活定量調査（その1）

～ 属性別こだわり生活テーマについての考察

沢辺 泰代* , 河崎 由美子*

The fixed-quantity investigation about the life with the interest or the hobby, Part . 1

The consideration about the interesting life

SAWABE Yasuyo , KAWASAKI Yumiko

1. はじめに

近年、日常の暮らしの中でこだわりのある生活スタイルをもつ生活者が増え、住まいを入手するきっかけや住まいづくりの力点もまた、休養や娯楽などの基本的生活の場にとどまらず、より創造的・生産的な活動の場のあり方に広がっている。営業の現場では、こうした生活者に対してよりニーズにあった設計提案が重要となっている。

そこで、全国の幅広い年齢層の一般生活者を対象に、関心を持って日頃よく行っている事や趣味事（以下、生活こだわりテーマ）について、その実態とボリュームの把握、それらを行うための空間に対するニーズを把握するために、2000人規模の定量調査を実施した。

2. 調査概要

(1) 調査目的：住まいでの趣味やこだわりテーマ（43項目）の実施実態とボリュームの把握、及び、空間ニーズの把握。

(2) 調査対象：全国の20-70歳代 男・女、N=2019

表1. 年齢構成

| 年齢 n=2019 | 20 ~ 24 | 25 ~ 29 | 30 ~ 34 | 35 ~ 39 | 40 ~ 44 | 45 ~ 49 | 50 ~ 54 | 55 ~ 59 | 60 ~ 64 | 65 ~ 69 | 70 ~ 74 |
|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 構成比% | 8.3 | 12 | 7.3 | 15 | 11 | 7.7 | 11 | 8.1 | 11 | 4.7 | 4.4 |
| 調査手法 | ネット | | | | | | | | | 郵送 | |

*50-64歳はネット構成比（総務庁「通信利用動向調査」）で割付け

(3) 調査時期：2008年8月

(4) 調査手法：ネット調査と郵送調査

(5) 調査項目：住まいで実施の趣味や関心を持って日頃よく行っている事（生活こだわりテーマ）に関する11問、及び、プロフィールに関する16問の計27問。

表2. 調査項目

| | |
|------------------------------|---|
| 生活こだわりテーマ の現状と今後 (11問) | 生活テーマ(趣味や関心事)(MA) |
| | 最もこだわっている生活テーマ(SA) |
| | その内容(FA)、誰と/頻度/場の状況/専用の場や収納の状況 満たす欲求 |
| | 今後の関心事(SA)、その内容(FA) |
| | 趣味などに費やせる自由時間(ふだんの日/休みの日) |
| プロフィール (16問) | 趣味などに使える自分専用の場の所有状況とニーズ(SA) |
| | 年齢、性別、未婚/既婚、職業、世帯年収、同居家族構成、子どもの学年、65歳以上の同居の有無、同居家族数、ペットの有無と種類、居住地域と分類、住居形態、将来の住宅計画と内容 |
| 計 | 27問 |

3. 結果及び考察

43項目の生活のこだわりテーマについて、関心をもって実施しているテーマの複数回答(MA)と、最も関心をもって実施しているテーマの単数回答(SA)を得た。以下に、単数回答についての、性別年代別の結果及び考察を示す。

(1) 生活のこだわりテーマ - 全体 -

最も実施人数の多い生活こだわりテーマは「户外运动・散歩・ハイキング・登山」で、1,000人中の実施人数への換算で、約90人である。(以下、人数は1,000人に換算。)次いで「旅行」89人、「PCでインターネット閲覧・検索」70人、「おいしいものを食べる」64人、「ドライブ・車・バイク・自転車」62人、「本を読む」54人、「お酒を飲む」35人、「料理を作る」34人、「スポーツ観戦(室内・外)」34人、「友だちつきあい」33人と続く。レジャー白書などにみられる傾向とほぼ同様であり、戸外のスポーツ、旅行、インターネット、グルメなど現代日本人らしい関心事が上位を占めた。

(2) 生活のこだわりテーマ - 性別 -

男女別の実施人数を図1に示す。男性でこだわりの高い上位テーマは、「户外运动・散歩・登山」「ドライブ・車・自転車」「スポーツ観戦」。女性では、「旅行」「おいしいものを食べる」「料理をつくる」である。また、男女差が見られないテーマは「PCでインターネット閲覧・検索」「家庭菜園」「ビデオの鑑賞」などで、男女差が大きいものは、「户外运动・散歩・登山」「ドライブ・車・自転車」「料理をつくる」などで、男性寄りのテーマでは女性の進出がみられるが、女性よりのテーマへは男性の進出が少ない傾向がある。

(3) 生活のこだわりテーマ - 性・年代別 20~40歳代 -

男性20代は「パーベキュー」の実施が多く、これはほかの年代ではほとんど見られない。男性30代は、「户外运动・散歩・登山」や「お酒を飲む」が多い。

男性20、30代に共通して多いのが「ドライブ」である。男性20、30代は戸外で活動することに関心が高いように思われる。

(* 積水ハウス株式会社住生活研究所 主任)

女性30、40代は、「おいしいものを食べる」が多く、「料理を作る」は、女性20、30代に多い。また、女性30代の特徴は「和洋裁・編み物・ビーズなどの手芸」「家庭菜園」「インテリア・家具」のように、家で行えることに関心が高い。女性20代は、全ての性・年代の中でも「ファッション」に感心が高い。

また男女に共通して40代は「本を読む」が多い。20~40代が行っているこだわりテーマを図2に示す。

(4) 生活のこだわりテーマ

- 性・年代別 50~70歳代 -

「旅行」が多くなるのが50代以上の特徴といえる。その中でも男性60代と女性50代が非常に多い。

男性60代は、「户外运动・散歩・登山」も多い。(3)でも述べたように、このテーマは男性30代と60代に非常に多いことがわかる。同様に、連続しない年代、女性30と50、60代が多く行っていたのが「和洋裁・編み物・ビーズなどの手芸」であった。制作がともなうテーマにおいては、「写真を撮る」が男性50代に多く、「絵を描く、陶芸、書道などの制作」が女性60代に多い。女性50代は、制作ではなく「踊りやダンスをする」「お茶、お花などの稽古ごと」が多く見られる。

「庭づくり・花づくりなどの園芸」は女性50、60代に感心が高く、「家庭菜園」になると男性60、70代、女性60代が多く行っている。同じく植物を扱うテーマでも行う人は違うことがわかる。50~70代が行っているこだわりテーマを図4に示す。

4. まとめ

生活者が、日頃、暮らしの中でこだわっている事や趣味事について、属性別にボリュームを把握することができた。

続報「その2」にて、これらのこだわりテーマを実施することで満たそうとしている心理的、生理的な欲求因子についての結果を報告する。

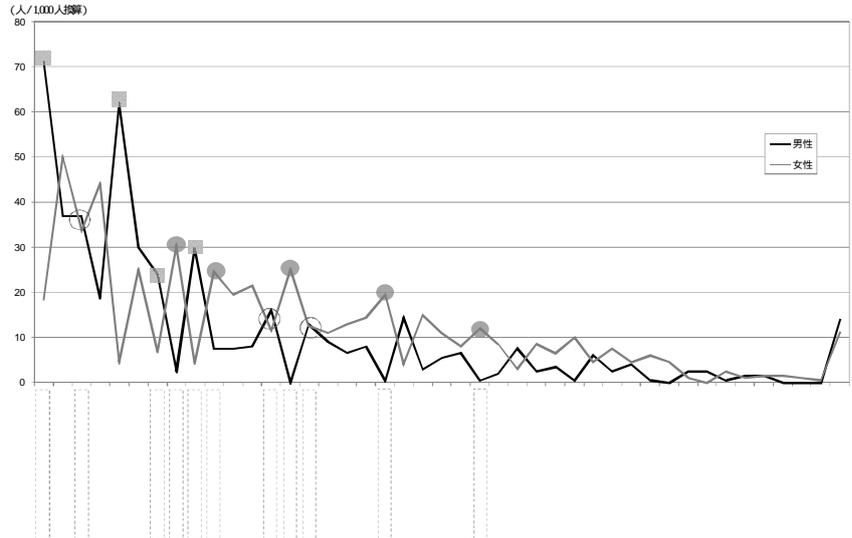


図1 生活のこだわりテーマ - 全体 -

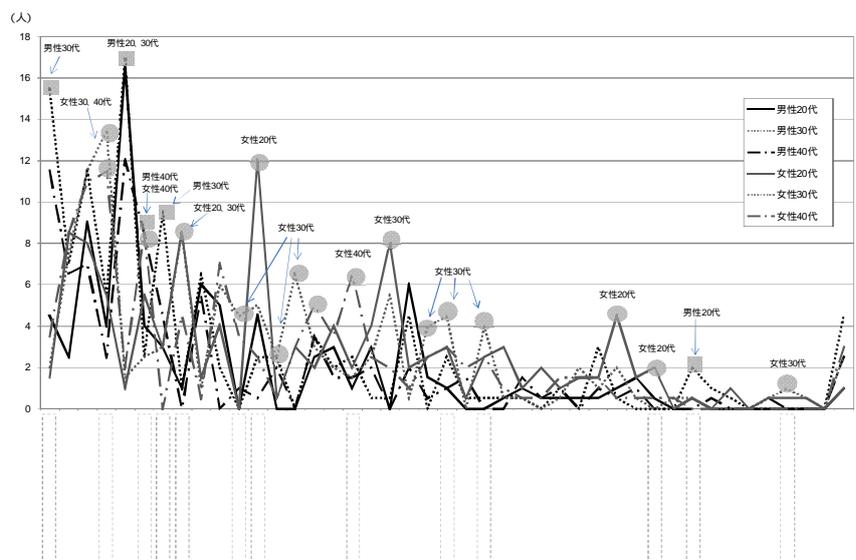


図2 生活のこだわりテーマ - 性・年代別 20~40代 -

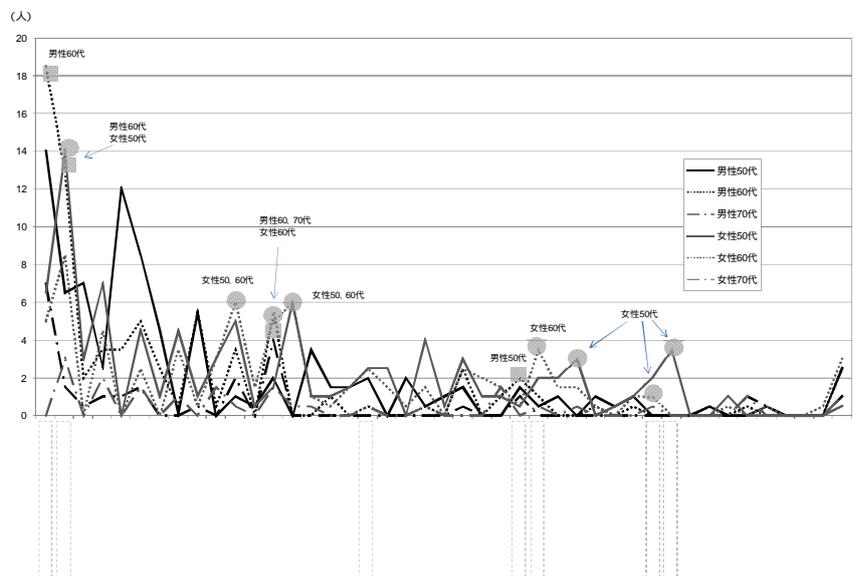


図3 生活のこだわりテーマ - 性・年代別 50~70歳代 -